

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2025～2026 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「自利利他 自らを研鑽し

社会に貢献するロータリー」

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会 長：吉田 和也

副会長：高井 良祐

幹 事：森 敬

会 報：古田 育則

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

前例会の記録 第 2211 回

2026 年 5 月 14 日

卓話「令和8年度関市予算の見どころ

& 学校再編」

担 当 環境保全

本日のプログラム 第 2212 回例会 2026 年 5 月 21 日

卓話「私のロータリー」担 当：ニコボックス

ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱…③

*会長あいさつ 吉田 和也 会長



本日の卓話はニコボックス委員会の担当で「わたしのロータリー」というテーマで山本義樹会員に卓話をいただきます。山本会員のこれまでのロータリー活動の経験からどのようなお話を聞かせていただけるか、大変楽しみにしておりますのでどうかよろしくお

願いいたします。さて先日 17 日の日曜日、美濃ロータリークラブの 70 周年記念例会に招待されましたので、

森幹事と一緒に参加してまいりました。来賓に美濃市長篠田啓介様、美濃クラブの会員であられる県議会議員佐藤武彦様、ガバナー玉野英美様、代表幹事安田健三様、ガバナー補佐喜久生明男様、武儀高校校長、美濃市教育委員長をお迎えされ、11 時に小川定彦会長の点鐘により例会が始まりました。美濃ロータリークラブは 1956 年 4 月 7 日に岐阜ロータリークラブをスポンサーに、県内 4 番目のクラブとして創立されたそうです。創立以来 70 年にわたり、地域に根ざした奉仕活動を大切にしながら奉仕活動をされ、その歩みの中で培われた歴史と伝統を受け継ぎつつ、これからの時代にふさわしい新たな活動に挑戦していくことが今の私たちに課せられた使命とお話されました。その後来賓の祝辞があり

記念事業の発表がありました。その記念事業の内容は、美濃市のご当地の名所や行事などをかるたの読み札にした「美濃かるた」の制作に金一封を寄付するというものでした。どのくらい寄付されたのか興味があるところでしたが、金額は発表されませんでした。その後、その寄付に対して、美濃市教育長より謝辞があり、点鐘の後、会場を移し記念祝賀会になりました。

記念祝賀会では、オープニングセレモニーで「美濃にわか」の披露がありました。美濃流しにわかには江戸時代から続く伝統芸能で岐阜県指定重要無形民俗文化財にも指定されているそうです。時間の都合上端的ではございしましたが、初めて、にわかを聞かせていただき、美濃市にわか連盟の会長の豊澤正信氏と美濃クラブの会員とで、美濃弁で時代の話などを題材にした、とてもユーモラスな「にわか」を披露していただき、大変面白いものだと思います。にわかを楽しんで、会場の雰囲気も和んだところで、喜久生ガバナー補佐の乾杯の御発声の後懇親会が始まりました。緑風荘はほとんど夜しか行ったことが無く廻りの景色はよくわかりませんでした。昼間は一面ガラス張りの窓からキレイな長良川が見えて、おいしいお酒とキレイな風景を楽しみながら、みなさまと懇親させていただき、とても幸せな時間を過ごさせていただきました。

*本日のプログラム 担当:ニコボックス
卓話「私のロータリー」 山本義樹 会員



私、75歳の後期高齢者にはいりまして、社会保険証が小さな紙になってしまいました。血圧の薬をもらいに病院に行きましたら、先生との雑談で、最近1年が大変早いという話をしたところ、山さんそれは、1日にあったことを半分忘れてしまうので、1年が短いと感じるそうです。1年がまだ長いなどと思う人は、脳がまだしっかりしているという事らしいです。

私がロータリーに入会させて頂いたのは35年前の丁度40歳の時でございました。地元でロータリー会員の方

がお見えになり、関市内のガソリンスタンドの会員で60歳になる会員さんがあり今なら入会できるがどうすると言うお話があり、職業分類の規則があり、早い者勝ちで他の希望者で、入会する希望が出れば君の入会は難しくなるとお話であり、私も遅れをとっては損ではないかと考えさっそく入会希望の申し込みを提出いたしました。入会インフォメーションでは役員の皆さんの中でも会長さんから必ず例会は全て出席するようにとお話があったと記憶しております。

ロータリークラブの入会前は青年会議所に所属しておりました。当時は仕事以外のことは全くの無知で青年会議所で色々学ばせて頂いたと記憶しています。そんな中ある友達がすべての事業に一生懸命青年会議所活動をされるので君はどうしてそんなに頑張っているのかと聞いたところ、その方は同じ年会費を払っているのだから、他の人より多くの事を学ばなければ損やないかという返事でした、また同じやるなら早く委員長になってより広く人生を経験するべきだし、昔から組織の中では役職が人を育てると言われているよと言いました。そんな話を聞きながら自分なりに委員長を目指して一生懸命活動をしていたことを思い出します。

当時ロータリーの例会場は池田町の関平安殿でしたが私の入会当時はメンバーも多くて開会が6時30分でしたが5時30分ぐらいには集まって来て、ロビーでワイワイ雑談をして見えました。当時私は仕事が忙しくて例会は10分程度前しか出席できなかったのも、どういう暇な人の集まりかと感心したしだいです。

最初の入会挨拶をさせて頂いた時に、皆様の前でロータリーに入会させて頂いてこれからは一生懸命勉強をさせて頂きたいと思っておりますとお話ししたところ、後程ある先輩の方から君はここでは勉強をする歳ではなくて、今までに勉強したこと、そして培ってきた経験を生かして地域や社会に貢献しなくてはなりませんとおっしゃいました。さて、自分なりに一生懸命出席と活動参加をして、やっと5年目でやっと委員長に昇格しました。会報委員会の委員長でしたが、それが結構大変でありましてポケット型のテープレコーダを支給頂き例会では最前列にて録音をさせて頂き、例会が終わるとすぐに家に帰って早速テープを聞きながら文章に直すわけですがこれがなかなか面倒でした。テープを進めながら、又巻戻

してを繰り返しながらかなり結構な時間をかけて原稿を完成させた事を思い出します。翌月曜日には大門町の大家印刷さんに持ち込まないと、木曜日の例会に配布が間に合わなくなりますので毎週大変な思いを致しました。たまに前回にスピーチの先輩が僕こんなことを話したかね?とお尋ねになる事がありまして緊張したおもいがありました。

委員会の在籍では色々な委員会を経験させていただきましたが、青少年、インターアクト委員会が多かった気がします。普通にガソリンスタンドの仕事をしているだけではなかなか経験できないことを勉強させて頂いたと思います。ガソリンスタンド業だけでは、経験できない色々な活動をこのロータリーで学びました。私の入会の際にお世話になったスポンサーさんの会社が倒産して今いまして、家もなくなり、家族もバラバラになってしまいました。

ちょうど私が60歳ちょっと前に、石油の元売り各社が再編計画と言いまして、地域のエネルギーを守っていこうという方針が出ました。昔は、元売りが13社ありましたが、そのうち生き残ったのが、エネオス、出光、コスモの3社。地域のガソリンスタンドもかなり影響をうけました。昔のスタンドは、政府に守られていて、4キロ以内では販売店は出せないという決まりがありました。お米屋さんも、タバコ屋さんもそうでした。今は、その制度もなくなり、昔にくらべてガソリンスタンドの販売店は、半分くらいに減ってしまいました。新聞でも騒がれていましたが、ガソリンスタンド難民というのが書かれていました。郡部に行くと、何十キロ走っても、スタンドがないという事があります。そして、昔は生活の邪魔にならない所で販売所がありましたが、今ではなんでもありで、スーパーやドラックストアの隣に店を出しています。強いものが生き残るそんな時代になっています。

こんな状況ではありますが、私も何とか生き残っていききたいなと思って、私も75歳になりますが、死ぬまではこのクラブにお世話になりたいなと思っております。私の人生中での関中央ロータリークラブと会員の皆様に大変感謝をしております、ご清聴ありがとうございました。

*出席委員会

会員数 26 名、本日の出席 15 名です。

*ニコボックス委員会

13 ポイントのご投函ありがとうございました。

*その他の委員会報告

*幹事報告

<次例会の案内>

第 2213 回 5 月 28 日 (木)

C.A 反省と次年度への提言

担当:会長・幹事